

8月の果実の見通し

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
もも		6,181	97	6,334	408	100	396	287	4.6	福島、山梨中心。山梨は平年並みのペースで7月下旬に「白鳳」がピーク。福島は前進気味で8月上旬に潤沢な入荷。盆前の需要期にも不足感無い出回りとなる見込み。長野も8月中旬以降本格的な出荷が見込まれており、産地リレーもスムーズ。中旬に一旦価格を下げるが、出るべき時に出てくることで、荷動きとしては悪くない。食味よく、前年並みの価格を維持。
りんご(つがる)		979	105	999	312	114	326	284	29.0	長野、山形、山梨中心の入荷となる。山梨が8月始めより入荷し、りんご販売が始まる。昨年と異なり、順調に生育している。長野・山形も平年並みに8月下旬から出回り、月末にはピークとなる。中心サイズは例年通り40・36玉で後半には36玉の比率高まる。入荷量は前年を上回るものの、25年産の残量が少ないので、好調なスタートとなる見込み。
ぶどう類		3,643	101	3,431	748	101	700	816	22.4	山梨、山形、長野産中心の入荷となる。雪害により入荷量が前年を大きく下回る状況が続いていたが、8月になってようやく不足感は解消される。露地物は作柄良く、房の伸びも良好。潤沢な出回りが見込まれる。「シャインマスカット」の栽培拡大傾向が続いており、成木化も進むことから前年を大きく上回ると予想される。
メロン類		2,733	97	2,923	363	102	341	618	22.6	北海道、青森、静岡産が中心となる。アールスメロンと青森・北海道のメロンの販売になる。大玉で高品質なメロンが相場を引っ張るとされる。天候に乱れがなければ、後半に引き合いが強まり、価格は前年並みになる見込み。年々メロンの品質は向上している。
すいか類		9,270	105	10,639	174	105	153	4,048	43.7	山形、長野中心。7月は内容に比較して評価が厳しく、価格が安めだったが、今後徐々に価格上げに転じると思われる。8月は前年に比べ、入荷量、価格ともに高めと見込まれる。